

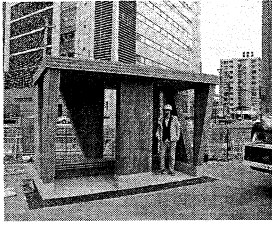
大分県で初めての
CLT実物件が建築
された。JR大分駅
県庁側出口の長距離
バス待合所で、現在
進められている駅周
辺再開発事業の一環
となる。杉CLTを
壁、屋根に採用し、
内側には木製ベンチ
が設置され
た。

20日に現地

大分で初のCLT建築物

接合金物、接
合方法を確
認、またCL

敷地面積31・89平方
米、建築延べ床面積は
4・76平方米、高さ2
・56米。工期は6日に
着工し、26日に完成し
た。杉CLTは7プラ
イ、21^号厚の製品が採
用され、台形及び長方
形の壁、また屋根に使
われた。屋根はシート
で施工見学会が行われ、
防水、内外壁はキシ
ラデコール塗装が施
されている。当日は
大分県CLT等利用促
進協議会の会員を中心
に30社・45人が参加し
、開始から1時間
30分ほどで施工を終
えた。今回のCLT実証棟
は、設計が伊藤憲吾建
築設計事務所、施工が
山佐木材、新成建設、
参加者は実際の



約1時間30分で施工を終えた